

## 令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（八代地区）

日時	2025/10/5 10:00～
場所	八代自治会館
出席者	35名 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進行	10:00～10:02 市長あいさつ 10:02～10:04 出席者紹介 10:04～10:38 市政の概要について（市長説明） 10:38～11:17 意見交換 11:17～11:20 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■農業用水路について</p> <p>吉滝では、地震の後、農業用水路の一部決壊や崩れがあり、雨が急に降ったりして、災害が他のところにも波及してくることがある。来年の3月になれば農業が始まるので、それまでに市として対応していただきたい。</p>	<p>■建設部長</p> <p>同じような要望は、各地区から出てきており、災害復旧工事は随時発注しているが、個別で対応できるものとそうでないものがあるため、相談させてほしい。</p>
2	<p>■八代地区について</p> <p>八代地区は、人口減少が続いており、自治会の世話をしているといろいろな課題がある。</p> <p>①人手不足のため市の方で学校の草刈りを年1回でも対応できないか。</p> <p>②津波の避難塔がない、年寄はどうすればよいか 広島には歩道橋にエレベーターがついていて、橋の部分に避難できるようになっている。高齢者の避難場所として参考までに。</p> <p>③地震の関係でガラスの破片など不法投棄が地区で見受けられるが現行犯でないと対応できない。市として対応できないか。</p> <p>④金沢から移住者あり、転入手続きは市民課で対応してもらったが、転入者の補助金については、本人が知らず、後から慌てて手続きになった例があり、もっと役所内の横の繋がりを密にしてほしい。</p> <p>⑤空き家が相当ある。解体に費用がかかり、解体すると土地の固定資産税が上がるため、放置されていることが多い。何代も相続されていないものがあり、一括して現在の相続人に相続登記できるよう何か方法はないのか。全国的なことなので、国に働きかけてほしい。</p>	<p>■教育次長</p> <p>①各学校の草刈りは、シルバー人材センターに委託して実施しており、その頻度についてご指摘いただくこともあるが、予算の中で効率よく行いたい。</p> <p>■防災危機管理監</p> <p>②朝日山に逃げてるのが現状であるが、昨年、民間企業と協定を結び、建物を避難場所として利用できるようになった。</p> <p>■市民部長</p> <p>③環境保全課と警察が連携し巡回等強めたい。</p> <p>④課の連携については、いろいろな手続きの際は、関係する課をご案内するようになっているのであるが、再度確認する。</p> <p>■企画政策部長</p> <p>④若い人に来ていただく施策を行っており、今後もしっかり取り組んでいきたい。</p> <p>⑤空き家について、国では、利用したり、壊したりした場合に補助金があり、市としても、それを活用して空き家対策を行っており、引き続き国に治して補助の継続を要望して支援を拡充していきたい。</p> <p>■総務部長</p> <p>⑤解体により固定資産税が上がることや相続等について、国に対して働きかけを行っていきたい。</p> <p>■市長</p> <p>空き家は朽ちる前に活用する方策を取りたいと思っている。税、登記については根気強く要望していきたい。</p>
3	<p>■羽咋と氷見の観光バスについて</p> <p>羽咋市は観るところはあるが食べ物はなく、氷見には食べ物と宿泊するところがあるので、羽咋と氷見の間にバスがあればいいのではないかと提案を受けた。</p>	<p>■産業振興部長</p> <p>羽咋市と協力できることがないか確認する。</p>

4	<p>■地すべりについて  (持参資料あり)地区内の用水が老朽化しており、市の補助金では40万円が上限で規模に対して自己負担が多すぎて手が出せない。</p>	<p>■建設部長  昭和40～42年に設置されたものであり、ほ場整備事業で整備したものは基本的には土地改良区の所有で、氷見市の所有となっているのはこの1件のみ。県の補助金なども活用しても受益者負担が40%程度かかるが、土地改良事業では負担が生じることになっている。</p>
5	<p>■人口減、少子化について  ①企業誘致も検討されてきていると思うが、企業は人材確保が難しいところでは進出しにくいと思う。  ②人材を育成しながら労働力確保するため大学等の誘致はできないか？</p>	<p>■産業振興部長  ①人材確保の難しい製造業というより、若者・女性に選ばれる事務系やIT、デザイン系等の誘致を進めていく必要があると考えている。  起業のサポートも続けていきたい。  ■企画政策部長  ②名城大学と連携し、サテライト的な学部の設置の検討や学生の市内での活動を支援するなど、若者が集い、活気のあるまちづくりを進めていきたい。</p>
6	<p>■U字溝について  損傷が激しく升があふれ道路が水浸しになる。どこに相談すればよいか。</p>	<p>■建設部長  道路課から連絡するので、立会のもと現地を確認させてほしい。   (対応結果)10/6現地を確認したところ、市道の側溝ではなく、氷見土木事務所にも確認したら県の施設ではなかったことから、水路整備地域支援などの事業などの利用について、ふるさと整備課に相談していただくようお願いした。</p>